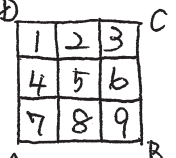
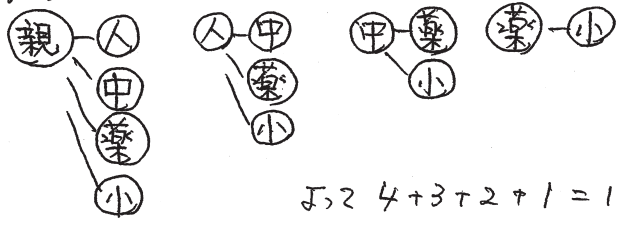


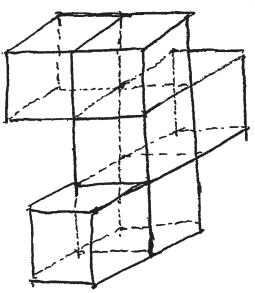
1	(1) 33	(2) 20, 23	(3) 1	(4) 40
	(5) 24	(6) $\frac{1}{24}$	(7) 8 : 6 : 15	(8) 43分 21秒

2	(1) 20	(2) 13	(3) 76 人	(4) 20 個
	(5) 3 日間	(6) 77.1 度	(7) 32 cm ²	(8) 100 cm ²

3	(1) (式または考え方)  図のように立方体に 上, 中, 下を1~9 までの番号を付けた と考えると ④と⑤の③から, 上, 中, 下 の3, 6, 9の立方体9個は残らな い。残, 7, 8の立方体9個は, 上, 中, 下 の1と7の立方体6個は残らな い。 ④の④より上の4だけ残るこ とがあり, ⑤の⑤から, 上の, 中の2, 中の5, 下の8, 下の5 の5だけ残ることもわかるが2 全部で6個の立方体が残る	(2) (式または考え方) 表面積は④, ⑤, ⑥ それぞれの方向から見た投影 図の面積を2倍したものの和になる ④は $2 \times 2 \times 4 = 16$ ⑤は $2 \times 2 \times 4 = 16$ ⑥は $2 \times 2 \times 5 = 20$ よって $(16 + 16 + 20) \times 2 = 104$
	(答) 6 個	(答) 104 cm ²

4	(1) 「あ」(考え方) 5本の指から伸ばす2本の指を選ぶ組合せを 考えると  よって $4 + 3 + 2 + 1 = 10$	(2) (考え方) グーとパーの同じく1通りずつあるように, 伸ばす指と 1にする指の数が等しい形は同じ場合の数がある ので, 一方だけ伸ばす2倍してよい。つまり 指を2本伸ばす(2本にする)が1通り, 指を1本伸ばす(1本にする)が5通り (1)から指を2本伸ばす(2本にする)が10通り よって $(1 + 5 + 10) \times 2 = 32$
	(答) 「い」 10 通り	(答) 32 通り

図示は
 4個数でOK
 正確はOK



受験番号	* 評 点

(*印の評点らんには, 何も書かないこと)